

2006 年度

科目名		対象学科・学年 文学部日文1回生 文学部英米1回生 文学部文財1回生 人間人社1回生	担当者 金井 英樹
授業テーマ 自立と共生のための同和教育			
授業の概要と目標 自立と共生の視点から同和教育をとらえなおし、その普遍性を明らかにします。 同和教育の遺産を継承しつつ、人権教育を構築するために、ともに学びたいと思います。 差別を見抜き、人権を尊重するためには何が必要かを考え、部落差別をはじめとするさまざまな人権侵害について、自らの関わりを見つめ直す作業ができればと考えています。			
評価方法 レポートの成果で、評価します。 毎時のコミュニケーション・カードも参考にします。			
テキスト 特に指定しません。適宜レジュメを配布します。		著者	出版社
参考書 『同和教育への招待』		著者 中野陸夫・池田寛・ 中尾健次・森実著	出版社 解放出版社
授業スケジュール・内容 1, はじめに 2, 人権侵害の現状 3, 部落差別とは何か 4, 複合する差別観念 5, 部落史観の転換 6, 日本史像の再構成 7, 女性史再考 8, 近代日本と部落問題Ⅰ 9, 近代日本と部落問題Ⅱ 10, 侵略と戦争Ⅰ 11, 侵略と戦争Ⅱ 12, 病者と隔離 13, 差別の土壌 14, 性差別 15, 子どもの人権			

授業の進め方、レポートについて、意識調査。
人権とは何か、現状を考える。
差別の現実と観念を抉る。
貴賤・浄穢（ケガレ）・優劣・衛生等々。
新しい部落史像を探る。
さまざまな日本という視点。
「三行半」とは何か。単純進歩史観の誤謬。
近代の問題としての部落差別。
改善・水平・融和・解放の歴史。
近代日本の侵略と戦争の歴史。
平和教育を考える。
ハンセン病問題について。
差別を温存するしくみとは。
男女共同参画社会とは。
子どもをとりまく人権状況。